

Alles im Eimer バケツくずし 3D KOSMOS (米版 The Bucket king 3D)

手札は、10枚ずつで始める (新版は、カード構成が5色1~8が2枚ずつに)
バケツは、2~4人各色3個ずつ。 5・6人2個ずつで、バケツ山をつくる
(キレイなピラミッド状になるやうに積むコト)

概要：同じ色で数字を大きくして行き、出さ(出せ)ないとバケツを一つ(以上)失ふ
誰かの(5・6人時は二人の)全バケツがなくなったら終了

米版と独版で、少しルールが異なる

「米版」

手番：最近、動物園に行った人から始める

初めてカードを場に出す人(1~3枚)は、そのラウンド時計回りか反時計回りか、宣言する
できるコト・・・

1：同じ色(動物)1~3枚で、前の人より大きくなるやうに数字を宣言して出す
(新版は、同じ値ではダメ！)

2：諦めてバケツ山を崩す

場の色(動物)と同じ色のバケツを一つ、指一本で弾いて取り除く

(新版のバケツコマならではのルール！)

これに依って崩れたり、分かれるバケツ山ができた場合、それ(ら)も全て取り除く

※説明書の図を参照

◎バケツを取り除いた後で、好きなカードを場に出す(回転方法も宣言できる)

3：最後に、使用した枚数に関はず、山札から1枚だけ引く

次の人へ、(以降繰り返す)・・・

山札は、尽きたら切って積み直す

終了：誰かの(5・6人時は二人の)全バケツがなくなった時

5・6人で、一人目が抜けた時、一度ラウンドを終了し、

次手番のプレイヤーがスタートプレイヤーとなる

☆複数ラウンド制で、バケツ数の合計勝負をするのも好い！

「独版」

手番：直前にバケツを持った人か、年少者から始める

☆ラウンドは時計回りに進行する（2・3枚を出した場合は逆回転で始まる！）

できるコト・・・

1：同じ色(動物)1～3枚で、前の人より大きくなるやうに数字を宣言して出す
(新版は、同じ値ではダメ！)

☆2枚か3枚で出した時、必ず逆回転する

2：諦めてバケツ山を崩す

場の色(動物)と同じ色のバケツを一つ、指一本で弾いて取り除く

(新版のバケツコマならではのルール！)

これに依って崩れたり、分かれるバケツができた場合、それ(ら)も全て取り除く

※説明書の図を参照

☆バケツを取り除いた後で、好きな同色のカード（1～3枚）を場に出す

3：最後に、使用した枚数に関はず、山札から1枚だけ引く

次の人へ、(以降繰り返す)・・・

山札は、尽きたら切って積み直す

終了：誰かの(5・6人時は二人の)全バケツがなくなった時

※5・6人で一人目が抜けた時は、そこで一度ラウンド終了

次手番のプレーヤーがスタートプレイヤーとなる

☆複数ラウンドで勝負するなら、各ラウンドで残ったバケツ数の合計が多い人が勝ち！

『バリエーション』

「米版のみ記載」

「1」は特別

1を(含めて)出した時、別色のカード1枚を追加でき、補充枚数も1枚増える

例：場が青で、青の1を出した時、追加で赤の4を出し、最後に2枚引く

数字の合計は5となる

例：場が青で、青の1と1と6を出した時、追加で赤の4と黄の3を出し3枚引く

数字の合計は15となる

「独版のみ記載」

バケツ山を崩す時、弾かず、取り除く必要があるバケツまで取り除いて行く

(旧版と同じ減り方で、3Dならではの崩しは省くルール)